

年 組 名前：

問1

道志小と道志中は、一体型校舎を活用した活動を展開しています。どのような考えに沿って、行っていますか。

.....

.....

.....

.....

問2

小学校、中学校合わせて、何人の児童生徒がいますか。

.....

問3

「中1ギャップ」とは、どのような現象のことを言いますか。

.....

.....

.....

道志小、道志中 一体型校舎で合同イベント



赤池 悠、森 航平  
高橋 咲良(富士北麓)  
武田 寛明(大月上野原)  
森 航平(都留)

- ・所在地  
道志村7568
- ・全校児童・生徒  
小学校 52人  
中学校 23人
- ・創立年月日  
小学校 1875年  
中学校 1947年4月1日
- ・学校教育目標  
小学校「確かな学力 豊かな心 健康な体 郷土愛」  
中学校「社会に貢献しながら、自立する生徒の育成」

一緒に給食を食べる児童生徒ら  
＝道志小中

日、両校の全児童生徒と教職員計約100人が校舎中央の共有スペースに集まり、一斉

食「食べ物？」などと書かれた手作りのカードを使いながら会話が弾んだ。小学6年の佐藤環音さんは「いろいろな学年の子と話せて楽しかった」と笑顔を見せた。

合同イベントが始まったのは一体型校舎の完成以降。校舎は上空から見ると「へ」の字の形をしていて、東側が小学校、西側が中学校。中央には多目的ホールや図書室などの共用スペースがあり、合同行事の多くが開かれる。合同給食のほか、小学2年生、中学3年の8学年が小学校への新入生を迎える歓迎会

年齢超え交流 視野広がる

⑧

道志村の道志小と道志中は、2017年に完成した一体型校舎を活用し、合同給食や音楽発表会など小中一体となった教育活動を展開している。

「いたできます」。10月15日、道志村の道志小と道志中は、2017年に完成した一体型校舎を活用し、合同給食や音楽発表会など小中一体となった教育活動を展開している。

に給食を食べ始めた。各学年の子ともたちが均等になるようグループ分けし、準備や運営は中学生の生徒会が担当。「好きな教科は？」「好きな

や、楽器演奏を披露する音楽発表会など、年間を通して交流の機会を設けている。今年の音楽発表会には、道志村保育所の年長児も招くなど輪をさらに広げている。

(2025 年 11 月 1 日付 山梨日日新聞 18 面)

問4 あなたは、この取り組みについて、どのように考えますか。理由も含めて自由に教えてください。

.....

.....

.....